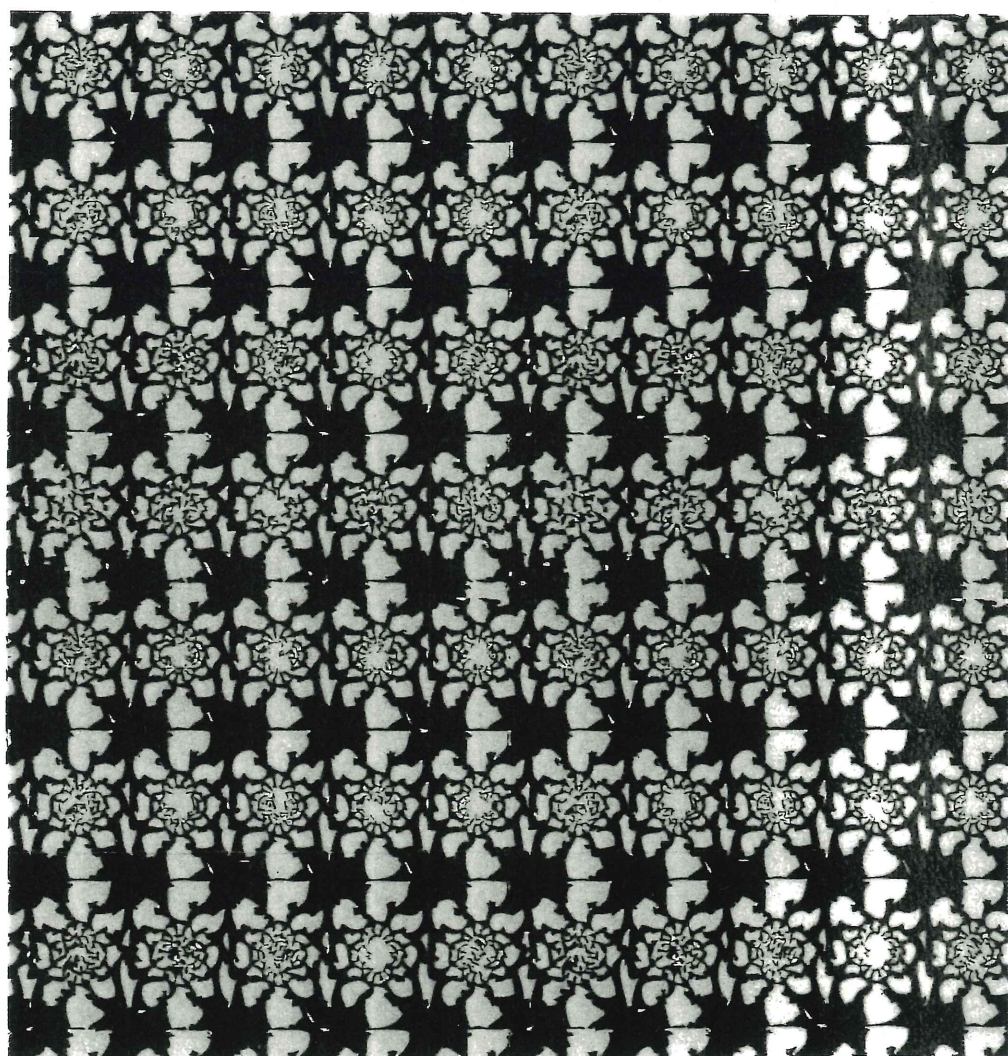


# 労災保険 適用事業細目の解説 令和 3 年版

労働新聞社 編



労働新聞社



## 58 輸送用機械器具製造業 ((59) 船舶製造又は修理業を除く。)

### 1000 分の 4

この分類には、自転車、自動車、鉄道車両、航空機等の輸送用機械器具の製造または組立てを行う事業が該当する。

なお、輸送用機械の原動機または金属部分品の製造または組立てを行う事業、輸送用機械の修理を行う事業であって主として工作機械により切削、穴切り等を行う事業および輸送用機械または同部分品の整備を行う事業は、本分類に含まれる。

また、金属、鋳物、可塑物またはファインセラミックスを主たる原材料とし、輸送用機械器具の専用部品または規格品を製造する事業であって、その生産額の 50% 以上が輸送用機械器具の専用部品または規格品（238 ページの 9 参照）である場合は、本分類に含まれる。

ただし、繊維、木材、ゴム、ガラスなど金属、鋳物、可塑物およびファインセラミックス以外のものを主たる原材料としている事業、消火器、各種工具等汎用品を製造している事業および電装品または計器等を製造している事業ならびにめっきまたは塗装を行っている事業は本分類には該当せず、各々該当する事業の種類に分類される。

#### 【事業の種類の詳細目】

##### 5801 輸送用機械器具製造業

この分類には、自転車、自動車、鉄道車両、航空機等の輸送用機械器具の製造または組立てを行う事業が該当する。

なお、輸送用機械の原動機または金属部分品の製造または組立てを行う事業、輸送用機械の修理を行う事業であって主として工作機械により切削、穴切り等を行う事業および輸送用機械または同部分品の整備を行う事業は、本分類に含まれる。

また、金属、鋳物、可塑物またはファインセラミックスを主たる原材料とし、輸送用機械器具の専用部品または規格品を製造する事業であって、その生産額の 50% 以上が輸送用機械器具の専用部品または規格品である場合は、本分類に含まれる。

ただし、繊維、木材、ゴム、ガラスなど金属、鋳物、可塑物およびファ

インセラミックス以外のものを主たる原材料としている事業、消火器、各種工具等汎用品を製造している事業および電装品または計器等を製造している事業ならびにめっきまたは塗装を行っている事業は、本分類には該当せず、各々該当する事業に分類される。

本分類に含まれる事業の範囲については以下のとおり。

##### ・自動車製造業

各種自動車（原動機付自転車を含む）の製造または組立てを行う事業、車台、車体またはトレーラの製造または組立てを行う事業および自動車部分品の製造または組立てを行う事業。

##### 【解 説】

自動車車体、自動車用ボデー、トレーラの製造または組立て、自動車シャシーの架装、自動車エンジンおよび同部分品の製造、ブレーキ、クラッチ、車軸、ラジエータ、デファレンシャルギア、トランスミッション、車輪、窓ふき、オイルフィルタ、オイルストレーナ、方向指示器等の自動車用装置の製造ならびに自動車の修理を行う事業は、本分類に含まれる。

ヘッドライトの製造、蓄電池の製造および自動車用加熱装置の製造を行う事業は本分類に含めず、「5701 電気機械器具製造業」に含める。

##### ・鉄道車両製造業

鉄道事業の用に供する各種の鉄道車両またはその部分品の製造、組立て、修理または整備を行う事業。

##### 【解 説】

鉄道事業の用に供する機関車、電車、気動車、客車および貨車ならびに特殊鉄道用車両の製造、鉄道車両用ブレーキ装置、ジャンパ連結器装置、戸閉装置等の鉄道車両用装置の製造ならびに鉄道用車両の修理を行う事業は、本分類に含まれる。

リフトトラックの製造を行う事業は、「5801 輸送用機械器具製造業（その他の輸送用機械器具製造業）」に含める。

##### ・自転車又はリヤカー製造業

自転車、リヤカー等またはこれらの部分品の製造または組立てを行う事業。